

共立女大家政 藤原 房江  
所属なし ○松田 歌子

1. 人間の体は各人各様に異っているように見えるが実はそれらもある割合をもっていて、それがある値に達した時、均整のとれた最も美しい姿になる、という研究はすでにギリシャ時代にされていたらしく、今に残る多くの彫刻によって推察することが出来る。

日本においては、ここ20数年間、特にその中でもここ数年間の身体の成長はめざましいものがあると思われるので、その推移を知るために実測する事にした。

昔は既成服といえはごく一部の人に利用されていたにすぎないが、現在は相当数の人々がそれを利用する時代になってきた。そこで均整のとれた割合と実測値とを基にして、美と機能を包含した合理的な構図の作成を目的として研究に着手した。

2. 年齢をあるグループに分けて計測調査し、各々の特性とそれらの相関関係を見る事にした。

3. 日本人も徐々によい割合に近づきつつあることがわかり、将来への推移を知る糸口を得、理想的な構図作成への明るい希望を持つことが出来た。